

# ふれあい情報

## 2017年 7月18日(火) 第258号

■発行 日本退職者連合  
 ■発行人 菅井 義夫  
 ■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

7月14日

### 日本退職者連合第21回定期総会開く



▲会場を埋めた産別・関連退連、地方退連の参加者。(7月14日、連合会館) 行動する退職者連合に向けて参加者の期待が膨らんだ。



阿部会長

退職者連合は、7月14日(金)午前9時30分から連合会館で、役員・代議員など200人が出席して第21回定期総会を開きました。総会では「行動する退職者連合の歩みを着実に前進させ、衆議院総選挙を勝ち抜き、政治の流れを変えて生き生きと安心して暮らせる社会にしよう」とする2017年度運動方針を決定するとともに予算、政策・制度要求、低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度の要求などを決めました。また、役員改選で人見一夫会長(自治退)が選出され、新執行部がスタートしました。なお阿部保吉前会長は、顧問に就任しました。

## 「行動する退職者連合」へ前進誓い合う

### 社会保障制度の充実と元気な高齢者の社会貢献が必要(阿部会長)

総会冒頭、主催者あいさつで阿部会長は、高齢者が人並みの生活を営むことができる年金、安心・信頼の医療と介護の充実、全ての世代に行きわたる社会保障制度の実現に向けて連合とともに中央・地方一体の運動をすすめていくこと、元気な高齢者がボランティア活動を通して社会に貢献する運動を全国で取



人見 新会長

今年の総会のキーワードは「行動する退職者連合」。就任あいさつで人見新会長は、「みなさんとともに行動を通してしっかりと退職者連合の運動を推進していきたい」との決意を明らかにしました。  
 また顧問に就任した阿部前会長も、退任あいさつの中で事務局長8年、



連合・神津会長

### 主体的力量を強め、運動の前進めざす

り組んでいることなどを紹介。「歳はとつても人間として、仮に認知症を患っても人間としての尊厳をもって人生を全うできる社会の実現をめざそう」と訴えました。

来賓では連合の神津里季生連合会長(写真右)、民進党の蓮舫代表、社民党の又市征治幹事長、中央労協の黒河悟副会長、労金協会の吉田正和副理事長、全労済の阿部田克美常務執行役員の6人が登壇して連帯のあいさつをしました。(写真は2面)



民進党・蓮舫代表



社民党・又市幹事長



中央労福協・黒河副会長



労金協会・吉田副理事長



全労済・阿部田執行役員

**<祝電・メッセージ>**  
 民進党のみなさんからいただきました。(敬称略)

○衆議院議員	大島 章宏
○衆議院議員	辻元 清美
○衆議院議員	佐々木 隆博
○衆議院議員	岡本 充功
○衆議院議員	大串 博志
○衆議院議員	大島 篤
○衆議院議員	荒井 聰
○衆議院議員	青柳陽一郎
○参議院議員	小川 勝也

(なお、阿部会長あいさつや総会の詳しい報告は、退職者連合のホームページをご覧ください。)

会長6年を振り返り「14年間が行動する退職者連合の礎になった」と述べました。  
 2016年度における政策・制度要求での政府・政党や自治体要請をはじめ、年金、医療・介護での国会傍聴行動、労働法制改悪反対の諸行動、社会的共感を得られる運動など一年間の取り組み成果を踏まえて、総会の中で産別・関連退連、地方退連の参加者は、退職者連合の主体的力量を強めて運動をさらに前進させていく決意を固めあいました。

# 1年かけて地方ブロックの組織強化はかる

## 2017全国組織代表者会議で意思統一

「主体的力量」を強めることがカギ

退職者連合は、7月13日(木)、13時30分から連合本部3階AB会議室で役員をはじめ産別・関連退連、地方退連の代表など約100人を集めて、2017年全国組織代表者会議を開きました。会議の主な議題の一つは、地域における組織強化です。具体的には、財政基盤強化検討委員会答申を受けて、退職者連合の地方ブロック協議会の強化をどのようにはかっていくのかをテーマに検討しました。その結果、向こう1年間をかけて地方退職者連合において組織討論を深めていくことを確認しました。また、政策・制度要求では、今年も全国で自治体要請行動を実施すること、社会的共感を得られる運動としてカジノ解禁推進法廃止の運動や悪質商法の撲滅をめざす消費者運動と連携していくことなどを確認しました。

地方ブロック強化の検討は、事会に出席するブロック代表者の第20回定期総会での退連の決め方②ブロック内へ職者連合規約の改正により、9の幹事会報告の方法③体つある各地方ブロック代表が、制・財政・諸活動など特別枠の役員として幹事会を構成の組織運営のあり方な成することが決まったからで、これから一年をかけてす。ただし財政上の理由でその検討することとなりました。実施が2018年第22回定期総会後となりました。

政策・制度要求では、例年通り、年末までに全国で定される運動方針を受けて①幹自治体要請行動を取り組むこととし、9月15日の地方代表者会議で具体化することを確認しました。またカジノ賭博合法化反対の取り組みでは、世論づくりに向けて全国で大衆行動を起こすこと、東京では7月24日と8月1日に主要駅前で街頭宣伝活動を行うこと、カジノ解禁推進法の廃止に向けて団体署名を取り組むことなどを確認しました。



▲地域から活発な発言があった全国組織代表者会議。

ホームページは退職者連合で検索を

退職者連合

検索